

2 (4) 実践事例 (A校第3学年)

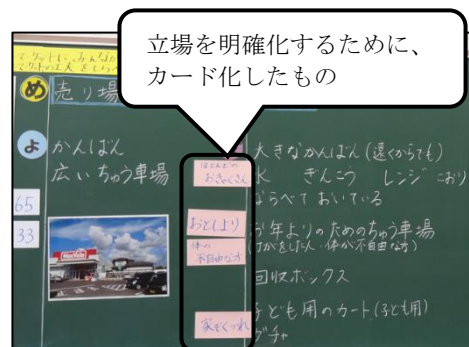
単元全12時間の指導の実際は、こちらから [click](#)

社会的事象の意味を段階的に考えさせていく実践【課題追究の場面】(第5時／全12時間)

本時の目標

スーパーマーケットで働く人は、消費者の願いや目的に合わせて様々な販売の工夫や努力をしていることを考え、表現することができるようにする。 【社会的な思考・判断・表現】

本時の授業の様子		※写真資料は、著作権及び肖像権に配慮し、処理しています。	
学 習 活 動		教師の働き掛け(○)、質的改善を図った手立て ([])	
1 本時のめあてをつかむ。 〈学級全体〉 学習問題：スーパーマーケットに お客さんがたくさん来 る工夫をさがそう。		○本単元の学習問題を確認し、学習の見通しを持たせた。 ○主体的に学習に取り組ませるために、調べたいことをまとめた図 を見て、本時に調べることを児童に考えさせ、めあてを設定した。 ○調べたいことをまとめた図から、「店外」について調べることを 確認した。	
めあて 店外には、どんな工夫があるか調べよう。			
2 店外にはどのような工夫があり そうか予想する。 〈学級全体〉		○学習の見通しを持たせるため、店外の工夫が見られる写真を見 せ、工夫がされていそうところを探させた。 ○なぜその工夫がされているかを予想させ、調べる意欲を高めるよ うにした。	
3 教科書や副教材から、店外の工 夫について調べる。 〈個→ペア〉		○写真で見付けた工夫やその理由は予想であることを伝え、予想が 本当かどうか確かめるために調べることを伝えた。 ○店外の工夫について調べる工夫やその理由の予想が本当かどう か確認するために、教科書や副読本、見学に行くスーパーマーケ ットの写真などから調べさせた。 ○調べ学習を効果的に進めるため、教科書や副読本のページを限定 した。 [C⑤] ○安心感を持って調べ学習を行うことができるように、ペアで調べ たことを確認させた。	
4 調べた工夫を発表する。 〈学級 全体〉 店の外には、どのような工 夫がありましたか。 大きい看板があります。 お年寄りのための駐車場がありました。		○調べた工夫を共有でき るようにするため、児童 に発表させた。 ○店外の工夫が誰に向け られたものか発問し、 「体の不自由な方に向 けられたもの」「小さな 子供連れの方に向けられたもの」などに分けて板書し、様々なお 客さんに向けられたものであることに気付くことができるよう にした。 [D①]	



5 店外の工夫についてまとめる。
〈個→ペア〉



6 学習問題について、自分の考えを書く。

○店外の工夫が、様々なお客さんに対して、様々な工夫がなされていることを総合的に考えることができるように、「どんなお客さん？」や「まとめて言うとどんな工夫？」と発問した。〔D①〕

○店外の工夫が、「買い物調べ」の「そのお店を利用した理由」と似ていることに気付かせ、スーパーマーケットはお客さんのために様々な工夫をしていることに気付くことができるようにした。

○本時で学習したことをまとめさせるため、どのような工夫があるのかを「たくさんの人」「便利のように」などのキーワードを挙げ、まとめられるようにした。〔D⑧〕

○本時までの学習を振り返ることで、スーパーマーケットがなぜお客さんのために工夫しているのかを考えさせ、「たくさん買ってもらうため」「売り上げのため」であることに気付くことができるようにした。

○本時の学習で分かったことだけでなく、これまでの学習内容を踏まえて記述することができるように、まとめ方の例を、判断する目安として示した。〔D⑨〕



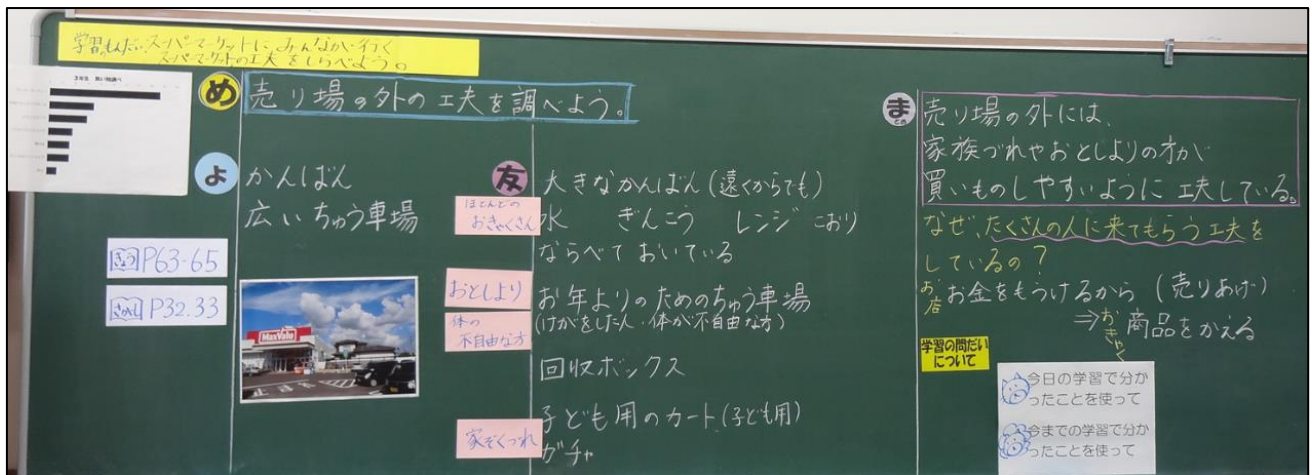
○本時の学習だけでなく、単元全体を通してこれまでの学習を想起して考えられるように、児童の疑問をまとめた表を見せ、どのような工夫があったかを確認させた。

○友達の見解を参考にして考えを深められるよう、数名の児童に考えを発表させ、自分の考えと比べて付け加えたり修正したりできるようにした。

7 店外の工夫について、実際にスーパーマーケットで調べたいことを書く。〈個〉

○調べる意欲を高めさせるため店外の工夫について、本時で調べたことを基に、更に調べたいことを書かせた。

○本時までに「商品」「店内」「店員」「店外」について調べてきたことを実際に見たり、聞いたりするために次時でスーパーマーケットに見学に行くことを伝えた。



本時の最終的な板書

本時の成果と課題 (○成果、●課題)

(1) 柱1 「本時に取り入れた手立て及び意識したことは、児童の『主体的・対話的で深い学び』につながっていたか。」

○お客さんをたくさん集める工夫を基に、その工夫が持つ意味（誰のための工夫か、なぜしているのか、その工夫をすることで、お客さんのどのような願いに応えることができるのかなど）について、段階的に社会的事象の意味について考えさせることができていました。

●児童の問題意識が十分に高まっていたのか疑問が残りました。何を調べるのか、何のために調べるのか理解できていない様子が見受けられました。教師が用意した資料を配布したのは、「資料を選んだり、情報を読み取ったりする」技能を高めることにつながっていたと思います。ただ、「主体的な学び」の視点からみてどうだったのか、検討が必要です。

●資料を厳選して提示することが、児童にとっては「主体的な学び」を妨げる遠因になっている可能性があります。最初から、関連資料を渡すことが前提となっていないのか。児童が「他にもないのかな?」と思ったときに、「調べたいと思った人は、先生が調べてきた資料があるから、どうぞ」と渡す方法もあるのではないかと考えます。

(2) 柱2 「本時に取り入れた手立て及び意識していたことは、資質・能力の育成につながっていたか。」

○知識・技能（特に技能）の面から、限定した資料の中で調べ学習を行わせることで、読み取る力を育てようと意図されており、児童は調べる活動が行いやすかったと思います。

●資料を読み取る方法と読み取る目的、意味が児童に伝わっていないために、何を調べればよいのか分かっていない児童の様子が見られました。資料の数を更に限定して、例えば1枚の資料から、読み取り方（集客の工夫、客の願いとの関連）を確認してから、調べ学習に取り組ませた方が効果的だったと思います。

○社会的事象の意味を段階的に考えさせていました。細かなステップを踏みながら考えさせることで、「全てのお客さん」「売り上げを高めるための工夫」といった概念的な理解へとつながっていたのではないかと思います。

○本時の学習内容を基に学習問題について考えさせようと手立てが工夫されていました。評価を具

体的に示したり、掲示物に注目させ、これまでの学習内容を振り返らせることで、学習問題について総合的に考えることにつながっていたと思います。

(3) 柱3 「授業の質的改善に至るまでの方法（手順）は、適切だったか（手引きの見直し）。」

○情報収集の手立てとして改善を図った（C⑤）は、技能の習得には一定の成果が見られました。

しかし、「主体的な学び」の視点から、C②C④の手立てを丁寧に行うことが必要であることが分かったことが成果だと考えます。